

ヴェレイロス職業訓練センター看護助手コース設置計画

2003年3月14日午後、サンパウロ市南部に所在する「ヴェレイロス職業訓練センター」において草の根無償資金協力により導入された看護助手実習用機材の引渡式が開催されました。

同引渡式は、事業実施団体の「社会調査及び大学生のための女性協会」(AFESU)からヨランダ・ガルシア・エスパルトーザ会長、同センターの講師、生徒、在サンパウロ日本国総領事館から赤坂清隆総領事他、総勢約50名の参加を得て盛大に開催されました。

式典は、本件供与機材の内、ベッド、人体模型等が設置された看護実習が行われる教室で開催され、ヘルパーコースの約30名の生徒が真剣に見守る中、供与機材を使った患者看護のデモンストレーションも披露され、実習の開始を前に生徒達の熱意に満ちた式典となりました。

○上記案件のプロフィール

案件名：ヴェレイロス職業訓練センター看護助手コース設置計画

実施団体：「社会調査及び大学生のための女性協会」(AFESU)

契約署名日：2002年4月29日

供与限度額：US\$22,047

案件概要：本件は、サンパウロ市内の4ヶ所で職業訓練及び社会活動を実施している「AFESU」が地域住民の就業機会の増加を図るため上記職業訓練施設の内1ヶ所であるサンパウロ市南部ヴィラ・ミシオナリア地区に所在する「ヴェレイロス職業訓練センター」において地域社会からのニーズが高い分野である看護助手コース及びヘルパーコースの開設に必要な、実習用のベッド、人体模型、聴診器等の教材及び患者の管理、会計処理等を学ぶためのパソコン等の機材を購入する計画に対して実施されました。



供与された機材（新生児模型、体重計及び机）



供与機材（パソコン）への日章旗ステッカーの記念貼付を行うエスパルトーザ会長と赤阪総領事



患者看護のデモンストレーションの様子